

第2回 長浜市産業文化交流拠点整備推進会議 要点録

【日 時】平成29年2月2日(木) 午後3時00分～午後4時45分

【場 所】長浜市役所 1階 多目的ルーム3・4

【出席者】参加者 委員10人(敬称略)

大橋 松行	滋賀県立大学 教授
ウスビ サコ	京都精華大学 教授
平井 むつみ	滋賀文教短期大学 教授
桐山 輝雄	長浜商工会議所(代理出席)
漣 泰寿	長浜地区地域づくり協議会 副会長
小西 光代	長浜市図書館協議会 委員
伊藤 雅明	長浜市社会福祉協議会 常務理事
磯崎 真一	長浜市文化芸術ユース会議 会長
川村 美津子	公募市民
大橋 優子	公募市民

市 8人
江畑次長(市民協働部)
中川副参事(建築住宅課)
林副参事(建築住宅課)
沢井技師(建築住宅課)
下司副参事(生涯学習課兼産業文化交流拠点整備室)
田中副参事(財産活用室兼産業文化交流拠点整備室)
西田副参事(産業文化交流拠点整備室)
高木主査(産業文化交流拠点整備室)
設計業者(株式会社久米設計 鈴木副部長(統括) 櫻木上席主査(意匠))
傍聴人 4人

【欠席者】

伊吹 正弘	長浜商工会議所副会頭(代理：桐山輝雄氏)
北川 雅英	長浜市産業観光部長
米澤 辰雄	長浜市市民協働部長

【内容】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
(座長)

・それでは『(1) 平面構成計画について』を説明してもらいます。

(事務局)

- ・土地利用計画について説明。
- ・当該地は長浜市の中心市街地の東に位置する公共公益ゾーン。
- ・敷地側に広げる形で東側市道、西側市道および長浜小学校東側の道路の拡幅及び改良を考えている。
- ・前庭を緑地帯および広場帯として考えている。桜については樹木医の診断に基づき診断結果の良かった数本を残し、それを中心として新しい桜並木の空間として景観にも配慮した公共空間を創出していく。
- ・南側入口のアクセスは歩行者専用のアクセス通路として考えている。車両は西側道路から進入して北側に配置した駐車場へ誘導していくことで、歩行者と車両の分離を図り安全の確保を高めていくことを考えている。
- ・駐輪場は文化福祉棟の北側に配置することを考えている。駐輪場へのアクセスは東側の歩道からと北側歩道からとを考えている。
- ・観光バスの停車及び乗降できるルートは国道８号線から駅前通を通過して西中前交差点を右折北上し、北東のゲートから駐車場へ進入して西側市道へ抜けて駅前道路で左折し国道８号線へ戻るルートを考えている。バスとゲートについては予約制。臨時的なゲート開閉。常時乗り降りをする場所としての設定はしていない。
- ・建物配置について、長浜商工会議所をはじめとして経済界と協議をして産業支援棟を東側に、文化福祉棟を西側に配置。更に南面を合わせて配置するということで協議を進めてきた。
- ・駅前道路南側の敷地については、駅前通に面して緑地帯を設けて西中学校からの緑地との継続性と正面の桜並木との整合性を図る。
- ・駐車場台数は北側敷地で約 80 台、南側敷地で 80 台～90 台程度を確保。
- ・駐輪場は約 100 台を確保。
- ・駐車場は不法駐車状態を無くするためにゲートを設置することを考えている。

（設計業者）

- ・第１回目の会議から更に公民館、図書館、長浜市と会議を進め、本日のお見せする平面図は最新のもの。
- ・建物の構成は前回説明した構成とほぼ変わっていない。
- ・建物の左側が図書館、右側が公民館施設、中央にフリースペースがあるイメージ。公民館、図書館の使い勝手の要望を合わせて今の計画になっている。
- ・出入口は南側と北側にある。車と職員の入り口は北側。基本的には南側からの風除けの入り口、北側からの風除け出入口からフリースペースにつながる動線。
- ・主に右（東）側が公民館ゾーン、左（西）側が図書館ゾーン。中央にカウンターというような形。図書館と協議を重ねていく中で、自動貸出機、自動返却というシステムを使うことによってより市民サービスができるような施設計画。
- ・自動車の利用者は主に北側から、歩いてくる人は南側から入館。南から工作室、和室、調理室、活動室の「大」、トイレがあって活動室の「中」。活動室「中」は２つに分かれる仕様。そこを取り囲む真ん中に音楽とか演劇の活動室を設け

ている。更に、図書館と公民館の交わるところにフリースペースとしての場所を確保している。

- ・左（西）側の方は主に小説、ブラウジング、インターネットコーナー、ヤングアダルト、学習室で構成されている。南側に本をもって外へでてくつろげるテラス。中央部にカウンター関係。市民活動の事務室を配置。相談室、救護室、公民館から活動で置けるような場所がほしいということでレンタルボックスの提案をさせていただいている。
- ・北側は図書館の管理室。
- ・中央の階段とエレベーターを使って2階へ。
- ・2階は、大きくは図書館の一般書架のゾーンと児童書架コーナーそして多目的室などの活動室。
- ・図書館と公民館の主要部分に活動室の部屋を配置している。図書館側からも公民館側からも使える活動スペース。
- ・2階のフリースペースは読書や、公民館活動が終わった後くつろげる場所として計画。
- ・2階の図書館で大きな取り決めとなっているところは児童書架と一般書架の場所。色々議論した中で中央階段から児童の空間へ行くまで空間を図書館が強く利用者サービスを意識した空間として作っていくことを考えている。
- ・基本的には一般書架と北側に地域資料、参考図書をまとめて配置。右側にオプションとして書庫に入れるべき本であっても、中にはまだまだ読む人がいるというものがあるのでそれを集めた公開書架を新たに設けている。
- ・カウンターは西側に集約し一般と児童が見える配置。
- ・更に階段とエレベーターを使って3階へ。
- ・3階は社会福祉協議会の事務室と中会議室。
- ・奥に集密書架と職員の休憩スペースを配置。
- ・あとは機械設備のスペース。

（座長）

- ・ただいまご説明をいただきました内容について、質問等ございましたらお願いします。意見の交換は後ほどございますので、質問ございましたらお願いします。

（質問）

- ・ガラス張りのところはずっと見通せる状態で、どこもカーテンとかそういうものをつけない？

（回答）

- ・部屋の用途によっては見せたくないということもありますので、中にカーテンやブラインドを置くことは考えています。

（質問）

- ・ 想定されている図書の数はどれくらいですか？

(回答)

- ・ 今実際今日の段階では 27 万冊。ただ、書架を一律で計算しているのももう少し高い低いで考えていくと増減があります。その中で集密書架につきましては、9 万冊。先ほどの公開書架に 3 万冊ぐらいあるので両方足して 12 万冊ぐらいが書庫の冊数としてある状況でございます。

(質問)

- ・ 利用者数の想定は？

(回答)

- ・ 現在は 30 万。計画では倍と書いていますが、この規模になりますとおそらく 45 万程度を見込んでいるのが現状でございます。ただ、なるべく多くの方に利用いただくことは考えています。

(質問)

- ・ 今エレベーターが一台と（バックヤードの）中のサービスエレベーターが一台。公共施設になってくるとしょうがいのある方が来られると思うのですが、中央の階段が 2 か所。もう一つの階段がある。そのあたりの動線はどのように考えておられるのかももう少し説明してください。

(回答)

- ・ 利用される皆さんが使われる主な階段とエレベーターは中央部分。エレベーターにつきましては 15 人乗りを想定しておりまして、開口の寸法は 900 以上確保できる、しょうがい者対応のエレベーターを考えています。交通計算もさせていただいて利用者人数から 15 人ぐらいが相当であろうということで計画しています。基本的に車で来館されるしょうがい者の方はしょうがい者用駐車スペースに車を止めていただいて、館に入っていただきすぐカウンターにて色々聞いていただいたうえで、エレベーターへ。階段でいける方は階段で行っていただいて。特に図書館利用で、対面朗読室の使い方について協議していく中でトイレに近いほうが良いということで一番直近のところのトイレをしょうがい者対応トイレとして設けています。ですからここ（対面朗読室）から壁伝いにトイレに行けるということが条件でございますので、そのような計画でトイレを設けています。基本的にはバリアフリーということで段差はありません。
- ・ 1 階での避難につきましては、基本的に 2 階 3 階から降りてくる階段が中央階段になってきますが、それぞれ風除けを抜けて北と南に抜けるというような避難経路です。1 階は避難階ですのでそのような形ですが、2 階は先ほどお話のありました中央の階段が主な避難の階段になっていますが、中央階段と南西側にある階段が一般の避難のときに使われる階段となります。ただ、南西の階段は児童書架にいる人たちと一般書架にいる人が主になります。後もう一つ、避難時には事務所側が解錠されてバックヤードの階段を使って下階に逃げていくことも出来ます。一応この 3 箇所の階段で避難ができるんですけど、基本的には中央階段が主な階段。3 階は中央階段が主な階段になりまして、社会福祉協議会を利用されている

方はそのまま逃げるような形です。避難距離につきましても一応すべて計算しましてここまで到達できる距離は計算して、ぴったりというわけではなくて余裕がある形にしております。

(質問)

- ・1階のフリースペースの部分でお尋ねしたいのですが、フリースペースの真ん中の部分に「舞台スペース」と書いていますが、これは何かちょっとした音楽演奏などのパフォーマンスみたいなことができるという空間ですか？

(回答)

- ・そのようなイメージで、作らせていただいております。音楽活動とか演劇関係の方との打合せの中で、部屋だけでなく外に飛び出て何かができたらいいなというお話がありまして、ここのフリースペースの一角を舞台スペース、舞台を作ってやることになるんですけど。なぜここにしたかという、点線があるところが上の吹抜けでございまして、丁度ここの点線のところに照明とかそのようなものを仕込んでいけば、ここが舞台にできるかなということで舞台スペースとさせていただきます。

(意見及び質問)

- ・フリースペースで簡単な絵を掲示したりすることも可能ですか。というのは意外と入館者が北や南から入って来られた時に最初に目が留まるところがフリースペースと呼ばれるところなんです。今回、融合施設・複合施設ということである意味、そのスペースの表現が今回の施設の一番特徴を現すべきものだと思うので、そこが有効に使えるというか、非常にうまくコラボレーションできるような使い方ができるほうが良いと思うので。
- ・もう1点良いですか。今の議論とは関係ないかもしれませんが、この会議自体が「産業文化交流拠点整備推進会議」ですので、いわゆる別棟の部分の概要についてはある程度聞かせていただいても良いのではないかなと思うのですが、これはどうなのでしょう。というのは、当然メインの市民が文化交流する場所の議論をずっとやっているのですが本来は「産業」と「文化」という2つの切り口でやっていて、我々は別棟の部分について「ああだ、こうだ」言うわけではないんですけども少なくとも概枠というか大きな枠組みみたいなものはご提示いただいても良いのではと思うので。また、次回の会議にでも公表できる部分があれば是非お願いしたいと。

(回答)

- ・当然公表できる部分があれば、していただけたらと思っております。今現在詰めておられるということは聞いておりますので、まだ、そこまで進んでおられないかなという感覚でおりますが、当然決定された事項につきましてはすべて出させていただくよう願いはしております。

(意見)

- ・産業支援棟の方の概略を若干申しあげますと、これは機関決定等がされていない状

況ですが、設計業者と実はもう既に詰めております。今正方形の状態と産業支援棟が描かれておりますが、これを若干変形的な長方形型に産業支援棟をもっていくと思っております。というのは、産業支援棟は正方形の立場で行くと若干、間田長浜線（駅前通）の方からみると存在感というのがちょっと薄れますので存在感を出すために長方形型にするということと、東側から採光、光を取るスペースをできるだけとる。廊下を長くして建物が仮に1階が800㎡前後であっても大きく見えるような状態でイメージを持っていきたいと思っております。既に産業支援棟の方では設計事業者並びに長浜産業創造センターを作るビジネスサポート協議会、商工会議所の3者が一体となって2つほど案を作っております。これは次の会議には公開できると思うのですが。その中で、1点質問がございます。図書館の1階の左のところにインターネットのコーナーを作っておられます。従前から図書館のほうにも産業支援ができるような図書の蔵書が図れないかというような要望をしておりました。合わせてここでいろんな産業系の図書の検索ができたり、あるいは隣の産業支援棟にもインターネットの機能を備え付けたフリースペースという形で市民がいつでもいろんな検索ができるような情報を作っておりますので、この図書館のインターネットの機能と産業支援棟のインターネット機能ができるだけ連携できるような体制作りを望みたいと思っておりますので、そのあたり今後、協議でおはかりいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

（質問）

- ・工作室をよく使わせてもらっています。子どもに教えたりするんですけど、一番ここが図書館コーナーに近い気がします。子どもがしゃべったりしても…。防音とか大丈夫なんですか？図書館のほうに（音が漏れませんか）。

（回答）

- ・基本的には一応閉じた空間にはしています。どちらにしても工作ですので中で「トン、カンカン」というのも考えています。

（質問）

- ・長方形とおっしゃられましたよね、産業支援棟。どういう感じですか、北へ伸びていく感じですか。

（意見（回答））

- ・今、資料で点線になっている部分ありますね。駐車場からの移動、あの辺りが実線になるんです。図書館の面と合わす感じで。一部東側の方にサブエントランス的なことを考えています。

（質問）

- ・東側は駐車場ではない？

（意見（回答））

- ・東側には駐車場スペース。本来ですと長方形の頂点のところに東西に駐車場、8

台ぐらい確保していたのですが、それを南北に駐車場スペースを設けようかという…。だから、その部分だけが若干すこし変形的な形にはなろうかと思うんですけど。

(質問)

- ・産業支援棟の正面口は南ですね。

(意見 (回答))

- ・南です。一緒です。

(質問)

- ・東口も作られるということですか？

(意見 (回答))

- ・そのあたりどのような形でなるか、道路から直接入れないということでしたので、当然駐車場の入り口はある程度限定されると思いますので、そこらへんが産業支援棟として如何に東のほうの設計を図られるかと考えています。

(質問)

- ・産業支援棟ばかり聞いてすみません。ここは例えば 100 人ぐらいが会議できるようなスペースは考えておられるんですか？

(意見 (回答))

- ・はい、スペース的には 190 m²ぐらいで、140 人から 150 人前後が利用出来るような多目的ホールを作ろうと思っています。それは産業創造センターのほうに作って、商工会議所と産業創造センターが共有できるような多目的ホールを作るという形。ただし、文化福祉棟の方にも活動スペースという形で、お部屋があろうかと思いますが、これは当然産業支援棟の利用者の方と図書館の利用者とが相違しますので。それと夜間利用が結構、産業支援棟の場合多いので、独自に考えているような計画です。それは公民館、図書館とも共同利用出来るような状態ということも合わせて考えています。図書館で大掛かりな研修会やセミナーをやろうと思えば、たぶん 150 人前後のキャパを取っておればセミナーも講習会もできます。あるいは子どもさんが集まってワイワイがやがやというようなこともできる形を考えています。

(質問)

- ・フロアの状態はどうなのでしょう。床が絨毯系なものか普通のものか。公民館でヨガを習っているのですが畳の部屋があるとか、そこらへんは決まっていますか？

(回答)

- ・いえ、まだそこまでは決まってない状態です。これからヒアリングをして作っていきます。和室につきましては畳で決まっています。

(質問)

- ・音楽の部屋とかも音を吸うとか反響とか、そういうものもこれから考えられるのですか？

(回答)

- ・そうですね、基本的には音楽室についてもそうです。たぶんですねこのような活動の部屋についてはフローリング系の床になってくると思っています。後ご要望によって、吸音と反響と二つの考え方があるのでそれをうまく室内にすみ分けて作っていく予定でございます。

－質問なし－

(座長)

- ・他に質問がないようですので、議題（２）『管理運営方針について』の説明をお願いします。

(事務局)

- ・管理運営方針について説明。
- ・運営は開館後当面は直営。市の組織の中では現在、市民協働部に当たる施設であるため、その組織の中で管理体制を構築することを考えている。
- ・設備空調管理などの基本的な施設維持管理及び保守については市庁舎と同じように専門業者に任せる予定。
- ・３階に配置している地域福祉機能については長浜地区社会福祉協議会にお願いする。
- ・開館日については、「公民館・まちづくりセンター」については現在と同じ体制。週１回の休館を原則として運営しているので、その形での運営を考えている。図書館については市内の他の６館の状況も考え、今回が中央図書館であることも考慮して図書館計画との整合性を図る。公民館の活動の内容と図書館の活動、週１回の休館日を合わせて検討する。
- ・休館日については施設の立地条件も考えて、どの曜日が良いかを調整する。
- ・社会福祉協議会は、市役所の社会福祉課と業務関係が密接となるため、現状の窓口体制でスタートすべきと考えている。
- ・図書館特有の休館日、いわゆる『蔵書整理日』。公民館の「長浜まちなかフェスタ」等全館を利用する日もあるので、その調整も含めて休館日を検討する。
- ・４月１５日の長浜曳山祭の近接地であるため、この場所としては市民の利用や観光客の利用も考えて施設の維持管理の体制をまとめる。
- ・開館時間は、図書館と公民館・まちづくりセンターで現在の状況が既にずれているが、今の活動が維持できるように考えているため、当初は各機能でずれた時間帯での開館時間とする。
- ・開館後は、新しい施設の実際の利用状況を考えて弾力的に開館時間を設定していく。開館してみないと実際の利用状況がわからないため。
- ・市内の他の公民館や図書館とは違う利用時間になると思っている。
- ・現行の長浜公民館にある機能と新しく付け加えた機能については、それぞれの利

用の考え方・仕方を考えて利用者の調整を図る。貸館という考え方も重要であるが、利用を如何に多岐にわたって使っていただくかという仕組みを考えて、この施設を利用いただければと考えている。

- ・公民館では長浜市主体の行事、地区協議会主体の行事については優先的な利用、本来の公民館・まちづくりセンターのもっている機能は活かしたい。
- ・料金体制は受益者負担の原則とここ最近開館した施設との利用料金とのバランスも考える。ここにしかない施設もあるため全体的なバランスの中で受益者負担を目指す。
- ・(施設管理業務は) 専門性を有するものもあるので、全体利用も受託できる事業者を決めて委託する考え。
- ・駐車場はゲート方式で管理。多目的ルームの利用、産業支援棟のイベント時の利用で、この施設の駐車場だけではまかないきれない場合も多々出てくると考えられる。そのときには市庁舎駐車場、200 台～300 台あるので、そういう駐車場も視野に入れながら駐車場の運営を考える。
- ・本施設は長浜市では初めての大規模な複合施設。新しい発見や活動が生まれる施設をイメージしつつ、市民に愛着が生まれるようなイメージを作れる場所として考えいきたいということで愛称の公募を行う予定。
- ・30 年度中に竣工を終えて、図書館の移動に数ヶ月かかるのでそれを終えてから31 年度中には図書館の開館を目指したい。

(座長)

- ・ただいま事務局から管理運営方針についていろいろご説明をいただきましたけども、何かご質問がありましたらお願いします。

(意見)

- ・長浜公民館は今年午後 9 時に閉館されておられるのですか。

(回答)

- ・9 時までご利用いただいて、退館いただくまでの 30 分の猶予という考え方のままです。

(質問)

- ・今、サークルさんとかが出入されるときは夜間だけ使われるときのセキュリティなんかもまた…。

(回答)

- ・新しい施設では完全に別にします。

(質問)

- ・先ほど方針で職員が居なくてもできるような…。

(回答)

- ・先ほど申しましたように中央管理システムという形で動きますので、委託会社、警備会社にその辺の管理はしていただけるようにします。

(意見)

- ・空間からそうなんですが、先ほど現行のままの施設管理を行うと閉館時間も現行のとおりでいくということですが、この施設を中心に市として文化的な活動が行われるなどの文化度を高めることをされると思うので、多分（今）想定されている以外の活動も行われるんじゃないかなと思うんです。施設空間や運営管理の話をしているとなかなか柔軟性、余裕というか管理にしてもスペースにしても非常に固定されすぎている部分があるように思うので、そういう意味では先ほどの「新しい取り組み」であるとか、「もっと若者に使ってもらおう」というところの具体的な姿が見えてこない。どこにでもあるようなものだけを置いたというように思えるので、管理面でもスペース面でも、その柔軟性が求められるのではないかなと思うんでよね。
- ・もう一つ、これも私個人のお話かもしれないのですが、例えば国際交流であるとかですね、そういうようなものがどのように行われていくのかなあと。あと、平面図を見ていくと図書スペースが広すぎて市民の文化活動とかの自由に使える場所の選択性が高い空間が少ないなという気がするので、管理運営を今までの現行で行うという考え方を改められないのでしょうかと思ったりするんですね。この施設で市民が文化活動をしていく中で、本当に新しい可能性をここで展開できるのかなと思えたりするので。前にも話しましたが皆さんの持っている「概念」とか「体質的なもの」をどこかで変えなきゃいけないと思ったりするんです。具体的なものが出てこない限りそういうことが残っているので、そこはいかがなものですかね。例えば施設の使い方、多分これからヒアリングとか行われると思いますが、多分若い人たちが求めているはこういう管理じゃないかなと思うんですけどね。いかがですかね。

(回答)

- ・若い方のご利用の形は先ほど申しました言葉の中に若干触れていたとおりでございます。ですから、現在協議させてもらっているのは現在の利用者さんが中心でございますし、また、新しい利用者さんも取り入れてはおります。その中で今までの公民館にない機能はここに付加させていただいておりますが、今先生がおっしゃっていただいたようにもっと「柔軟に」「幅広く」というところまでは至っていないところが現状でございます。そういう方が長浜におられれば是非とも捉えていきながら、具体的な利用が考えていければこの施設全体で5,000㎡でございますのでなるべく余裕空間、なるべくこのフリースペースを多く取ろうという思いで作ってはおりますが如何せん外からの全体的な縛りもございますので、その中で今やっている所でございます。

(意見)

- ・例えば、アートフェスティバル的なものが入ってきたりとか、今までにない使われ方がこの施設があることによって長浜で行われる場合に、それを逆にウエルカムできるような空間づくりができないのかなと。何かの芸術祭であるとか、今ま

での概念じゃない、パフォーマンスとかいろんなものが入ってくることによって若い人たちがより使いやすくなっていくのかなと思います。しかし、そうすると今までの利用者には想定されていないので、そうすると若者の居場所として見込めないのかなと。せっかくいい施設を作っているのに。先ほどイメージ図で若い人がギター弾いていたけど、本当にそうなるのかなあと。今の話を聞いていると本当にそうなのかなと。行政のしょうがない部分があるのかもしれませんが、その中で若い世代も含めて市民にどこまで支援ができるのかが重要かなと思っています。

(意見)

- ・似たような意見ですけど、図書館が夜7時に閉まってしまうと働いている者が行けないと思うんです。前々から隣の山東のルッチプラザとか遅くまで開いていると、夜間の利用が結構あったりもして。今の若者は夜型で家でネットやスマホもやっているけどネットで何か調べたいとか、いろんなつながりをもつと思うと夜間の解放というか居場所というのが今長浜にないんだと、そういうように思うんです。せっかくここ独自のものをとおっしゃるのであれば、そこらへんを一步踏み込んでもらいたいなと市民さんからそういう要求が出てくるんじゃないかなと感じるんですけど。

(意見)

- ・閉館時間が午後5時から午後9時までありますが、「柔軟に」「弾力的」運用とおっしゃられたと思うんですけど、その差が大きすぎてもう少しどこかで歩み寄れないのかなと。今おっしゃったように、夕方から来られる方もおられるわけで、そういう人たちの利用を考えるとちょっとアンバランスなのはどうなのかなという思いがしたのですが、このあたり行政としてはセキュリティの問題とかいろいろとあるんでしょうけども、そのあたりどうでしょうか。

(回答)

- ・現行の市民活動センターにつきましては、本庁の中にありますので午後5時15分ですが、新施設に移った場合は当然公民館の範疇です。社会福祉協議会については、3階にあり、別組織でございますので別扱いとなります。あとの機能の閉館時間は夜の7時と9時になりますのでほぼ時間的には同じになると思います。市民活動センターにつきましては、新施設に移った場合（閉館が）午後5時ということはないと思います。それと、図書館の利用につきましてはいろいろとアンケートを取っております。長浜市の合併前、合併後といろいろとアンケートを取って現実問題として図書館の開館時間は伸ばしたり短くしたりといろいろとしております。そういうことも含めまして考えてまいりたいと思います。すでに現在も何回か改正しております。現在の開館時間はアンケートの結果の状況となっています。

(意見)

- ・これまでのアンケート結果とのことですが、これからの人をいかに取り込んでいくかという目線で考えると、今までの人のアンケートだけを対象にしていけないと思うんです。見えない人を対象にしていかなければいけないのですが、「ここが開いているからここが溜まり場になっていくんだ」という場所を作って

いかないと。今までのアンケートだけを参考にしていただけでは新しいものは作れないような気がするんです。どうですかね。

(意見)

- ・私も同じ意見で、例えば図書のところでも産業創造のコーナーでもいいんですが、若い人たちが仕事を終えてから、研修でもいいんですけど、ちょっと（本が）見たいとか、集まって市のために何かをしたいという話をするとか、必ずしも文化施設だけでなく図書コーナーも夜遅い時間帯に使いたいということがあると思うので、管理が必要な部分ともう少しオープンにできる部分というのは作っておいて、例えば「この部分」は（夜遅い時間でも）使えますよという管理体制はできないのかなと。図書館全体が一気に夜7時に終わってしまいますと例え2時間であっても施設の3分の2ぐらいが閉まっているような感じになるので、非常にイメージを問うところがあると思うんです。部屋もいろいろあるし教室もいろいろあるし図書館のほうでもやっぱり管理体制を少し伸ばして生涯学習的なことも含めてもう少し遅い時間帯に、皆さん仕事終わってからここで何かできるとか、市民が集まって勉強会だけじゃなく交流ができる、そういうものが文化施設だけじゃなくて産業のほうもある程度そういう機能をもっていたり、ちょっとした上映会・ドキュメンタリーを見るとかいろんな場合があると思うので、その辺が今先ほどあったような管理体制だと、なかなか新しいモノを生み出せる可能性がないと思うので。そこを長浜だからこそ出発できる新しい何か、公共施設の使い方にチャレンジしても良いんじゃないですかと思うんですよね。そこは勇気がいるかもしれないけど、そこを思い切ってやってもいいんじゃないかなと。じゃないと市民の満足度というのは「普通」程度はあるかも知れないけど、「よりよい」ということが…。もっともっとそこに新しいことが「生まれる」とか「できる」可能性を与えてもよいのではと私は思いますけど。

(座長)

- ・質問事項をお聞きしておりますが、意見も出てきていますので意見交換も含めてお願いします。

(意見)

- ・今のご意見、大変貴重な意見として拝聴しました。産業支援棟は逆に若者が使うスペース、あるいは女性が使うスペースをたくさん増やしておりますし、夜間、大げさなこと言ったらエンドレスで使えるような状況にやっついこうかなと思っています。青年会議所とか商工会議所の青年部というのは自分の仕事が終わってからの活動となるので、夜の8時9時から活動をするというのが通例になりますので、その頃からオープンスペースにしておかないと逆にせっかく建物作っても何ら利用できない施設ではダメですし、あるいは産業支援棟のほうは今若い方の職探し、安定所に行ったとしても安定所が規定の時間に閉まってしまうのであれば産業支援棟のほうで安定所のサポートできるような施設を考えております。

パソコン1台でいろんな情報が共有できるような状況のハローワークのスペースを今回パソコンを2台ほど設置して支援、働き方の改革とかいろいろな形でも臨んでいきたいと思っております。そのため、駐車場管理がその時当然必要になってきますので、エンドレスに使ったときに当然駐車場が閉鎖されていたら何ともならないですから、駐車場の管理方法について、産業支援棟の意見も十分に配慮していただきながら考えていただきたいと思います。それからすみません、もう一つ意見あるんですけど、第1回目の会議の時に県道（駅前通）から入って、桜並木を作ってそれからあのときには底を作るというようなイメージで、底によって文化福祉棟と産業支援棟をつなぐといわれていました。逆に底ができることによって、そのスペースでいろんなことができますし、今日の図面を見ていますと桜並木のところと底の部分がどの程度のスペースが生み出せるかどうか。びっしりと桜を植えなければならないのか、それとももっと余裕のあるような桜の植え方をしてそこが広場になるような状況であれば県道から自由に入れて有効活用ができるような形になるということも想定されたいかがなものかということで、その意見をいただきたいと思います。

（回答）

- ・今点線で底を表しているんですけど、基本的にまだ産業支援棟の形が見えなかったのどういう様につないでいくかというのはこれから検討させていただきますが、実際こちら側（南側）とですね、北側。両方底で結ぶような形で考えています。駅前通りからの距離なんですけど、16メートルほどあります。ですから今言った桜並木、前庭としては十分な距離は持っていますので、前庭のしつらえをこれから詰めていかなければならない。産業支援棟と文化支援棟のちょうど両方とも前面の非常に重要な場所になってきますので、16メートルを有効に活用して計画はしていきたいと思っております。

（意見）

- ・桜ですけども、桜並木の間で野外の音楽演奏ができるとか、あるいは野外でビールが飲めるとか、そういうような市民が集えるような状況を作らないといけないと思います。「ここは図書館ですよ」「産業支援棟ですよ」「一切この敷地の中でビールは飲んだらだめですよ」とか。ここは市有地ですけども市有地をもう少し拡大的に見ればここで夏場、若者が集まれるような、ミニコンサートができるような状態にする。今言いましたビアガーデンが少しでもできるようなスペースがあれば、当然若い方が集まってくると思うんです。雁字搦めにしてしまうとか、ほとんど夜になると駐車場は閉まってしまうなど、何もかもが閉まってしまうとなれば、何のための複合施設かわからない。そんなことがないようにと思っていますので、そのあたりはご配慮願いたいと思います。

（回答）

- ・同時にお祭りの関係も考えながら、調理室とか配置しています。ただ、外に出てどうするかというところまでは行っていません。ですから、前庭の空間ですね、それは今ご意見いただきましたので、そういうものも考えながら計画はしてい

たいと思います。

(意見)

- ・京都では何カ所かロームシアターとか、もともと市が持っている国際交流会館とか、ああいうところでは結構外の空間を使っていますよね。借りることもできるし、いわゆる飲むような、例えば国際交流イベントなんかで野外で外国の食べ物と飲み物が楽しめるとか。先ほどの話も祭までいかないまでも、「市民が集う」という機能も持たせることも重要で、図書館を見ていると非常に「固い」ですよね。そういう意味で近寄りがたいところも。ここに入ると真面目にしないといけないと感じてしまうので。でもやっぱり文化の展開でいくと皆さんいい意味で交流ができる。それぞれ自分の目的のためだけに来ると、交流ができないんですよ。そこで先ほどのビアガーデンでも夏祭りでもなんでも、そこにつながりがあると皆さんが触れ合って更なる交流が生まれてくると思います。空間が可能にしないといけないと思うので、逆に空間がそこを断絶すると意味がないので、そのあたり考えていただきたいなと。

(意見)

- ・前の会議とかではチャレンジショップ的な話も出ていたような気がするんですけど。そういうのはなくなってしまったのですか。期間限定のチャレンジショップみたいなこともできるスペースの話が出ていたように思うんですけど。

(回答)

- ・今現在のこのスペースの中でそういうような形のことができる空間は作っておりません。というのは、利用料金の関係もございますので、どういう形にするかというのも決めておりません。フリースペースをどのような扱いをするかも決まっておりますので。チャレンジショップは利用料金とかも発生してまいりますので、その辺も考えつつ、そこまでしてやりたいということがあれば場所は持っております。

(意見)

- ・やりたいと思っているから出来るのではなくて、そういうところがあればやりたいと思う人が出てくるのではないかなと思うんですけど。「チャレンジショップが出来る場所があるんですよ」とか「こういうことができる場所があるんですよ」となると、その場所があるのなら、こういうことがしたいと思う人が出てくると思うんですが…。

(回答)

- ・実例で、長浜市役所の中でチャレンジショップを開いてもらっています。主にパンがほとんどで、ほかの地域でもパンのチャレンジショップ、自分たちで作ったパンもしくはクッキーを常時納品することはなかなか難しいというところもあるようですが、門戸を閉じているわけではなくて、市役所でもやっていますしほかの公共施設でも「どうですか？」というお声掛けはさせてもらっています。ここでもフリースペースが取り合いになるぐらい盛況になればチャレンジショップを

することはなかなか難しいかもしれませんが、空いている日が多いのであればそういう提案もできてくるということになります。ただ、お店を開かれる側のチャレンジショップっていうのは基本的に特定団体さんに限らせていただいています。単純な営利目的の方の場合はダメと。福祉の観点ですとか、市民交流の別の目的の観点を含んだチャレンジショップというものは入れ込むことは現段階でもできますので、ここでもモノによってはできると思っています。

(意見)

- ・産業支援棟でそういうもの難しいですか。

(意見 (回答))

- ・いえ、産業支援棟は創業支援とかあるいは短期的にチャレンジしようというお店の部屋は作ります。約4部屋ぐらいSOHOシステムという形で「短期開業できる」あるいは「創業はしてみたいけどちょっと需要度がわからないから」という人でも5㎡ぐらいのスペースを与えて、やってみてこれだったらできるであろうという電話とデスクだけ一応おいて、チャレンジできる施設は作る計画です。

(意見)

- ・私はむしろ産業棟はいろいろとリアルにやられるかもしれないけど、文化棟のところで、フリースペースで定期的ではなくても何かをやるとかですね、あるいはママ友たちが作ったものをここで売ったりする。商売という視点で見るとはなくて一つの文化活動として、今世界中でも行われていますので、一様に産業につなげるのではなく文化の面でそういうものを見ることはできると思うし、文化としての産業としてみることも結構あるかと思うので、フリースペースが柔軟にそういうことに使えるとか、段階をキチンと申請すれば「お金がかかる」「かからない」というのはいろいろあるかもしれないけど、そういうところも管理体制とも関係してくると思うので、そういうこともできるようにすればいいかなと。フリースペースはいろいろなものが固定してないですよ、設計上。だから、多目的なフリースペースというものがあってもいいかなと。

(意見)

- ・歩道から建物の間までが16メートル。その場所をそういうことにもっと利用できるんじゃないかと思います。面積を見ているとすごく広いですし、お天気の問題もありますけど「芝生の上で好きにしてもいいですよ」と解放するとかして、建物で人を区切るんじゃなくて、見えるところから中に入っていきたいような場所をこの16メートル間でできるといいんじゃないかなと思いました。
- ・それともう一つ自転車置き場が北側にしかないんですけど、雪が降ったら北側は危ないのと、駐車場の側なので子どもの自転車の出入りが危ない場合が考えられると思うんですけど。南側に少しは作れないのかなと、南側からくる人もいると思うんですけど、車の出入りがなくて自転車を止める場所が出来るのであればいいかなと思うんですけど。

(回答)

- ・今のご意見はいくつかいただいております。自転車置き場を「南側に」とか、色々

なことを考えて作ってまいりたいというように考えています。ただ、現在南側の広場の図案が落とし込めておりません。多方面から、どちらかという空間利用ができる広場をというご意見が多数ございますので、その中での自転車置き場の配置をということで、置くことができなかったのが現状です。もう少し広場についてはいろんなご意見をいただきました幅広い活動ができるような仕組みを作っていきたい。それと先ほどサコ先生からおっしゃっていただいた文化活動の視点からいろんなことがフリースペースでできるのではないかとというご意見もいただきましたので、また、先生にいろいろとお教えいただきまして、そういうことも反映させていけたらと思います。

(意見)

- ・ここは、あくまで産業文化交流拠点ということで先ほどの産業支援。それから文化福祉施設の両方がリンクしてコラボして機能していかなければいけないと思うんですが、産業棟の方はかなり遅くまで使われる。場合によってはオールナイトで使われると考えていらっしゃるようでございますので、やっぱりこちらの文化福祉施設の方も、ある程度それにリンクする形で閉館の時間ですね、ここらあたりも交流ということをかんがえると片一方が完全に閉まっていて片方だけが開いているというのでは、それでは交流にならないのではないかとこの思いがしますので、もう少し時間的に柔軟に特に夜間活動される方にとってきちんと活用できるような施設として使っていただきたいなという思いがございます。これはあくまでも両方がきちんとコラボして機能するような形での施設として期待したいなという思いもございますので、どうぞご一考いただければなと思います。

(意見)

- ・先ほどからフリースペースの使い方、いろいろな使い方ができるのではないかとこの議論がされていまして、特に中で使う場合「新しいことがしたい」とか「新しいチャレンジがしたい」ということが基本方針に書かれていると思うんです。今の中で運営面に関してはチャレンジというのが見えてこない。また、やる人は入って活動する人はチャレンジするのだけど、実際この運営自体はチャレンジされていなくて。もっと新しいことにチャレンジしてほしいというのが僕の思いであります。あと実態をみて変更していくとか実態を見て変えていくということが言われていたんですけど果たしてそれが開館されたときに同じような運営体制でスタートしましたという時にせっかく新しいものができて行ってみたいという人にとってそれはすごくがっかりするし、じゃ最初のところでそれで行かなくなってしまった人にとって次なかなか足を運びづらくなってしまいうんじゃないか。やはり最初は失敗もするかもしれませんが、なかなか運営としてうまくやれないこともあると思うんですけど最初に大きく間口を広げていただいて、そこでチャレンジしていただいて、もしそれで運営がうまくいかなければ少しずつそれに合わせて、そこそ実態に合わせて変えていけばいいんじゃないかなと。最初から小さくスタートするよりは大きくチャレンジしていただいて、そこから拾えるものをどんどん拾っていただければなというのが私の意見としてあります。あと、

先ほどフリースペースの使い方という部分もそうですけど、時間に関してもそうですけど、今現状の市の直営管理ということでお話をされているんですけど、やはりどうしてもそこが一番ネックになってくるかなと。どうしてもなかなかチャレンジできないところは直営管理という部分にも関わってくるのかなというところもあるので、早い段階で運営自体も移行していただいて全体の管理も柔軟に変えられるような運営体制にしていいただければなと思っています。

(意見)

- ・管理運営ということに関してですが、今確かに夜の7時までとか、時間の問題が例えばもっと長く開館するとなった時の体制ですね。人的な体制というのがもっと延長、例えば図書館でももっと遅くまで開館するということになった時に人的体制のことは、延長が決まった場合にそれをちゃんと補てんしていく姿勢があるのかどうかというのが特に図書館の場合、大きいと思うのですが、その辺のところはどうなのでしょう。時間に合わせた人の体制を用意されますか。

(回答)

- ・行政的に申しますと、当然そういうこともございます。今までの話を聞いていますと経費がどれだけかかるかという、それに対して費用が生まれてくるということがございますので。ただ、当然それが「良い」となればそういう人員体制はとってまいりたいと思います。ただ、費用対効果ということが行政は常に言われますし、逆に民営化しても、そこが成り立っていくのかということがありますのでその辺はいろいろと考えつつ、なるべく利用がし易い、今までにない施設にはしていきたいと思いますがその辺は実際に経費が掛かってくることでございますので十分に配慮をしていく。当然職員に負担がかかるようなことはしないということもございます。

(意見)

- ・どうしても人を置かないといけないとか、そういう人員的な費用がかかるような方面じゃないところで何か新しいやり方がないのかなと思います。外国のいろいろなところの市民図書館とか見ていくと市民の関わり方であったりとか、必ずしもそこにお金を使って物事を解決するんじゃなくって皆さんの関わり方で解決できること、「守りたい図書館の部分」とあと市民で回せるという言い方は変かもしれないけど「ある程度融通が利くようなところ」があるんじゃないかなと思うんですよね。小さい例かもしれないけど、今私の大学が運営している「マンガミュージアム」というのがあるんですけど、図書館機能もあるんですが、皆さん漫画を愛しているというのがあるのかもしれないんですけど、皆さん漫画を取って好きなところで読んで、例えば芝生で寝転がって読んでも、そのあとちゃんと元に戻しているんですよ、ちゃんと。だから結構そういう職員がやらなければならない仕事は少なくて簡単に点検しているだけ。だからある程度皆さんが多分ここで本を持って帰られる方がいてもいいくらい本を愛してくれればいいと思うので、そこを「管理」「管理」っていうのがあまりにもそこに縛られて、先ほどのチャレンジというものができないのかなと。だから市民の関わり方・責任の果たし方「こ

れはみんなのものだ」ってというような意識がきちんとできるものであれば厳しく管理する部分とちょっと柔軟に皆さんの関わりで可能にする部分というのがあってもいいのかなと。実際イギリスのどこかの町、ちょっと覚えてないですけど、市民がカードを持っていて夜中でも本を読みたいなと思ったらその一か所だけなんですけど、自分のカードを「パッ」とかざして貸出ができるという、夜中でも貸出ができるということをやっていたりとか。これホントに市の人たちのコンセンサスと関心の度合いかなと思うんですね。それすべて人員を配置しないとできないということであると多分なかなか新しい展開ができないかもしれない。これもまた考慮されたらいいなと思います。

(意見)

- ・今ちょっと思いついたんですけども、長浜城歴史博物館はボランティアの方がたくさんいらっしゃいますよね。歴史が好きな方がボランティア活動をやってますね。図書館もおそらく図書が好きな方がたくさんいらっしゃってボランティアで活動してくださる方がたくさんいらっしゃるんじゃないかと思うんです。そういう方たちを活用していただければ市民協働という形にもなりますし、いろんな面で「私は皆と一緒に盛り上げていますよ」という雰囲気にもなるのかなという思いがしますので、そういった事業をお願いすることも一つの方法かなと思います。ボランティアの方をお願いするということも考えいくべきではないかなと思います。

(意見)

- ・管理する事務の部分があるのですが、図書館のコーナーであるとか、開館の時にはこういう状態かなと思うんですけども、一般の市民が何かの窓口、インフォメーションに行きたいときにその建物のあくまでの事務局として聞きたいわけなんですよ。例えば、聞きに行って「それは図書館のほうです」「それは公民のほうです」「それは市民活動のほうです」と振り分けられてしまうようなやり方はおかしいと思うので基本的にこの建物ができたらこの建物の統括をした事務局にそれぞれの専門の方が入っておられて、どういう市民が来られてもちゃんとその中央サービスのところで窓口の対応ができるようにしていただいたほうがいいかなという気がしますので、そこらへんはよろしくお願いします。

(意見)

- ・先ほどの話に戻ってしまうのですが、確かに管理面においては今先ほどおっしゃったことはそうかもしれないということはあるんですけど、図書館の機能というものをどのように考えるのか。ただ「本を貸す」それだけではないと思うんですよね。ですから、開館しているという状況というのは、専門の人がいて資料と人を結び付けられる、ただ隣にある本を管理するだけではないと思うんですね。だからどこまでの機能を何時まで求めるのかということはあると思います。ですから、そこら辺のことはよく考えないと、図書館の方も考えなければいけな

いことかなという気がするのですが、図書館の職員がいるというのは図書館の本を管理するっていう面だけでとらえるのはちょっと違うのかなと思います。

(意見)

- ・確かに先生がおっしゃられるように、図書館の司書の方々の仕事は目録であったりとか本の並べ方とか皆さんのニーズに応じていくようなある種のオーガナイゼーションということもあるとは思いますが、また、一方でこの図書館のある意味で個人が選択していくシステムというもの、司書がいたら相談したりすることもあるでしょうけど、ある程度自分でインターネットで調べてぱっとピンポイントで探したりとか、あるいはしばらくはそこで佇んでいたりと、なんか映像見たりとかいろいろあると思うので、司書に相談できる時間帯というのは勤務時間帯をはっきり明記しておけばわかるわけですね。その時間以外は自分でなんとかしないといけないということは市民もわかるはずだと思うので。司書が必ずしもいなくちゃ図書館をきちんと自分の思い通りに利用できないということはなく、皆さんそういうのは考えていかないといけない。もしかすると今でも夜間返却できますよね。

(意見)

- ・公民館、この4月から長浜市のまちづくりセンターのほうに名称も内容も変わっていくことを考えると本当に先進的なまちづくりに展開できるような「余分」というか「余力」を残しておいていただきたいなと。今から平成31年度に仕上がる新たなまちづくりの拠点を今回これだけ大掛かりに色々な方が関わって作っておられるのであれば、そこに何が起こってくるか、どんなニーズがあるかわからないので、柔軟的なものがほしいかなという様に思います。今の「公民館」の役割とはもっと違うものができるっていう可能性をおいていただけるといいのかなという気がします。

(意見)

- ・この前の時間も協議の中でもお願いしてきていたんですけども、建物の中では難しい部分があるかと思いますが、災害時のボランティアセンターとしての機能を駐車場がかなり広いところが市の中心地にございますので、その点の機能を持たせていただくようにお願いします。

(意見)

- ・先ほどから若者に使っていただきたいという話がたくさん出てきていますが、例えば若者が自分で持ってきたパソコンを開いて自分の仕事をすると考えたときに例えばテラスなんかも外から自由に出入りできるとか、どこかでコーヒー…、定食が取れるような空間とか、そういったものも考える余地というものはあるんじゃないでしょうか。
- ・例えば建物の周り、現状飲食店はとても少ないですね。といったことを考える

ここに長く居ていただきたいとか若い方にここで長く居ていただいて活動していただきたいという時にどうしても居られない。飲食できないのであれば、どうしてもそういったところで不利なんじゃないかなと私は思います。

(回答)

- ・長浜市内で、ここは立地条件が良いので当然いわゆるお店がどんどん出てこないといけないのですが、出てこられないので我々もわからないのですが、この市役所でもそうなんです、これだけの人数がいますのでそういう方が利用できるようなお店があるとは思いますが、実際になかなか出店されないという現状がございますので、そこらへんなんとかできないかというのは模索しております。

(意見)

- ・今の質問へのご回答ですけど、産業支援棟の方でそれを今協議しているような段階です。やはりコーヒーショップあるいは少し定食を食べられるスペースがないとせっかく図書館に来て隣に産業支援棟があればそこでコーヒーを飲みたいとか定食を食べたいなどという希望者はおられると思いますので、そのニーズにこたえられるよう産業支援棟で何らかの方策を考え中です。ただ、採算面とかを十分に考えておかないと。出店された人にしてみれば採算が合うというのが原則ですから、そのあたり協議しているような段階です。商工会議所のほうのテナントもいろんな方が入られまして、また、産業創造センターの方もいろんな方が入居されますので利便性を考えるとすれば今言いました産業支援棟のほうに飲食的なスペースを必ず作らなければならないと思っております。

(意見)

- ・多分図書館の使い方とかいわゆる本の情報、情報の拠点なので最近皆さん情報を見ながらコーヒーを飲んだり、ちょっとサンドイッチ食べたりとかあちこちにそういうところがあります。前からお願いしているように新しい図書館の使い方とか今までにないものに是非チャレンジしてほしいなと思っています。多分そのためにここにできるかもしれないし、リスクもいろいろあるかも知れない。ただ、そこを乗り越えていくことで市民に愛されていく新しい施設としての価値なり意味なりが出てくるのでぜひ目標に。

(意見)

- ・先ほど大型バスの話が出ていたので教えてほしいのですが、例えばユネスコに登録された長浜の曳山祭が4月15日開催されると、そういった特定日にこの北側の駐車場にバスが入り込んできてそれを受け入れるということの想定は先ほどの説明でしておられるということですね。その場合、人の流れは。来られたお客さんはバスを降りられてどの道を使われますか。

(回答)

- ・おそらく一番西へ誘導するか北の細い道へ誘導することになるかと思いますが、八幡さんがどうお考えになるかわかりませんが、八幡さんが（所有されている現

在空き地に成っているところを) 改良されるのであれば直接西側の道から八幡宮方面へいけますし、改良されないのであれば北側の細い道へ誘導することになります。

(質問)

- ・バスはあくまでも停車。いわゆる乗降ですね。降ろしてまた次乗せるということですね。バスを駐車しておくのではなくて。

(回答)

- ・曳山祭のときは、今迄からありますように自衛隊の車とかいろいろな車両が停まる可能性はありますので、そこは受け入れるつもりでいます。ただ、一般のバスについては降ろしていただくだけ、それでなるべく回していく。その時は多分ですけど全館休館にしてしまう形で対処せざるを得ないかと思います。一般の方の利用はできなくなると思います。

(座長)

- ・時間も押しておりますけど、ぜひ意見がありましたらお願いします。他によろしいでしょうか。

－意見なし－

(座長)

- ・それでは意見も出つくしたようでございますので、本日の意見交換はここまでとさせていただきます。もし本日の意見の補足等ございましたら事務局まで連絡いただきましたらお願いします。

4. その他

- ・次回の会議日程は3月2日木曜日、午後3時から。
- ・詳細について後日再度連絡。

5. 閉会

－終了－